# れんけいと支援

2022.3月号

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守

Hoo



## COVID-19と産科診療

産婦人科 長谷川 徹

COVID-19感染症の波が何度も押し寄せています。分娩は延期できない「待ったなし」のものであり、私たちは昨年から日々の感染対策に加え、陽性妊婦受け入れのシミュレーションを行ってきました。昨年からCOVID-19陽性妊婦の分娩を経験しておりますが、当院での感染対策の取り組みの一端としてその1例を報告いたします。

妊娠の満期に発熱がありPCR検査の結果陽性となった方です。管理目的に当院感染症病棟へ入院となり、通院していた前医より紹介状をいただき呼吸器内科とともに管理しました。経腟分娩による長時間のエアロゾル発生を避けるなど感染防御の観点から、入院中に分娩がはじまった場合は帝王切開とする方針とし、麻酔科、小児科、病棟、手術室、感染対策部門等とともにミーティングを行い、感染症病棟から手術室への動線や手術室でのゾーニングと物品配置の確認、帰室後の母児管理、分娩時のスタッフの人員調整などを話し合いました。

入院から数日で陣痛が発来し、陰圧手術室

で全員フルPPEにて 脊髄くも膜下麻酔+ 硬膜外麻酔による緊 急帝王切開を行いま

した。分娩後、母親は感染症病棟にて管理、新生児は一時的に保育器隔離を行いましたがどちらも経過に問題なく、産科病棟管理となりました。これまでの経験を糧に今後も感染症指定医療機関としての役割を果たしていきたいと考えています。



手術室(陰圧室)でのシミュレーション

## 4月分

## 研修・講演・学習会のご案内

### I. 地域連携症例検討会 (ハイブリッド開催) ※会場またはWEBでの参加が可能です

※令和4年4月の開催から、症例検討1例30分、ミニレクチャー1題30分の予定で開催いたします。 ご参加のほどよろしくお願いいたします。(日本医師会生涯教育制度のカリキュラムコードの付与は、 今までと同じ2つとなります。)

日時:4月12日(火) 19:00~20:00 場所:当院3階 講堂

1)症例検討

「当院初のロータブレーターによる治療を行なった労作性狭心症の一例」

循環器内科 桶家 一恭

2) ミニレクチャー

「腔水症で発症するリンパ腫 ~原発性体腔液リンパ腫類似リンパ腫 (primary effusion lymphoma-like lymphoma: PEL-LL)~』

血液内科 寺崎 靖

腔水症で発症し、明らかな腫瘤形成やリンパ節腫大、臓器腫大を認めない非ホジキンリンパ腫としてWHO分類改訂第4版(2017)には「原発性体腔液リンパ腫(PEL)」が記載されている。これは、ヒトヘルペスウイルス8型(HHV-8)感染が関与し、Large B-cell lymphomaを構成する一つの独立した疾患単位として位置づけられている。背景にHIV感染などの免疫不全を伴う例が多く、予後不良の疾患である。

一方、今回ご紹介する「原発性体腔液リンパ腫類 ただく。

似リンパ腫(PEL-LL)」は、PELと同様に腔水症で発症するが、HHV-8陰性であり、HIV感染例が少なく、PELよりも予後良好と考えられている。よってPEL-LLはPELとは明らかに区別される疾患である。また化学療法をせず、ドレナージのみで完全奏功となる症例も存在する。

PEL-LLは比較的まれな疾患であるが、当院では現在まで6例のPEL-LLを経験している。症例を提示し、この不思議なリンパ腫につき解説させてい

#### 予告

日 時:5月10日(火) 19:00~20:00(ハイブリッド開催)

場所: 当院3階 講堂

内容:①症例検討 I 例 (担当) 小児科

②ミニレクチャー | 題 (担当) 麻酔科

地域連携症例検討会に関しては、今後もWEBを利用したハイブリッド方式で開催していくことを計画しています。つきましては、ZOOM会議のご案内に関して参加される先生方の利便性に鑑みURLならびにQRコード等をお送りするため、下記のメールアドレスへ①貴施設名 ②氏名を明記の上、メール送信いただきますよう、よろしくお願いいたします。一度登録していただければ今後継続してご案内をメールでお送りいたします。

#### ttm2168@tch.toyama.toyama.jp

(ふれあい地域医療センター 地域医療連携室)

#### ※定例の研修会、看護研修

当面の間、開催を見合わせております。



作:病院ボランティア 篠崎 佳子



臨床研修医 勇人



お世話になっております。初期研修医2年目の 森勇人です。

市民病院の研修医は例年人数が少なかったの ですが、4年間連続で募集定員(6人)が埋ま り、人気病院になってきております。

人気となってきた理由としては、指導医とな る各科の先生方が親身に教えていただけるこ と、指導いただいたことを実践する場を与えて いただけること、実践したことをフィードバッ クしていただけることにあると考えておりま す。

特に救急では研修医が主体になり、初期対応 させていただくことあるのですが、1年目ではで

きなかったことも、ご指導の甲斐もあり2年目に は徐々にできるようになってきたと実感してお ります。

この2年間で、素敵な指導医の先生方に数多 く出会うことができました。先生方に教えてい ただいたことを活かして、自分も研修医の見本 となれるような医師になれるよう研鑽を重ねた いと考えております。

指導体制が整ってきたこともあり、年々優秀 な後輩たちが研修病院として市民病院を選んで くれております。これからも皆様の温かい目 で、研修医を見守っていただけたら幸いです。

2年間大変お世話になりました。

## 医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

| W. 1514777 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 |     |        |               |     |       |
|--|-----|--------|---------------|-----|-------|
| 科 名  | 医師名 | 不 在 日  | 科 名           | 医師名 | 不 在 日 |
| 整 形 外 科・関節再建外科                               | 重本  | 8日、15日 | 眼科            | 山 田 | 18日   |
|  | 岩井  | 7日     | 耳鼻いんこう科・頭頸部外科 | 児 島 | 6日    |
|  | 岡本  | 15日    | 歯科口腔外科        | 寺 島 | 11日   |

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112(代)内線2168

## 編集後記

日増しに暖かくなりいよいよ春らしくなってきました。長女の卒業式はコロナ対策で本人し か参加できず、オンラインで視聴しました。病院でも面会や退院前カンファレンス・研修会 など一部オンラインの開催になりましたが地域の方々の沢山のご参加に感謝しています。テ レビでは連日、ロシアのウクライナ侵攻や地震・コロナなど暗いニュースが流れています。生 活に多少の影響があっても平穏に生活できていることに感謝し、早く世界に平和な日常が戻 るよう祈っています。次年度もふれあい地域医療センターをよろしくお願いいたします。

ふれあい地域医療センター 杉森 裕子



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。 送付を希望されない方はお申し出ください。

> TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154 メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ http://www.tch.toyama.toyama.jp/ がん何でも相談室:メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp

